

# キリストがすべて

第155号 2017年7月10日発行



CONTENTS	Page
巻頭言	1
講演要旨	2
ホイトン大学学長	
英語教育のこれから	4
新入生証し	6
ニュース	8
入試情報、etc.	10
財務報告	11
卒業生インタビュー	12
支援会ニュース	13
Information	16

- ① オープンキャンパス
- ② ホイトン大学フィリップ・ライケン学長特別講演会
- ③ 英語インタビュー授業風景
- ④ スプリングトリート
- ⑤ パイプオルガンさんこんにちは



## TCUの大切な年

東京キリスト教学園 理事長 廣瀬 薫

「…城壁を建て直し、破れ口は残されていない…」(ネヘミヤ6章1節)  
 2017年初めの理事会は、「今年は特に大切な年」だという認識を共有することから始まりました。ぜひお祈りいただきたいので、要点をご紹介します。

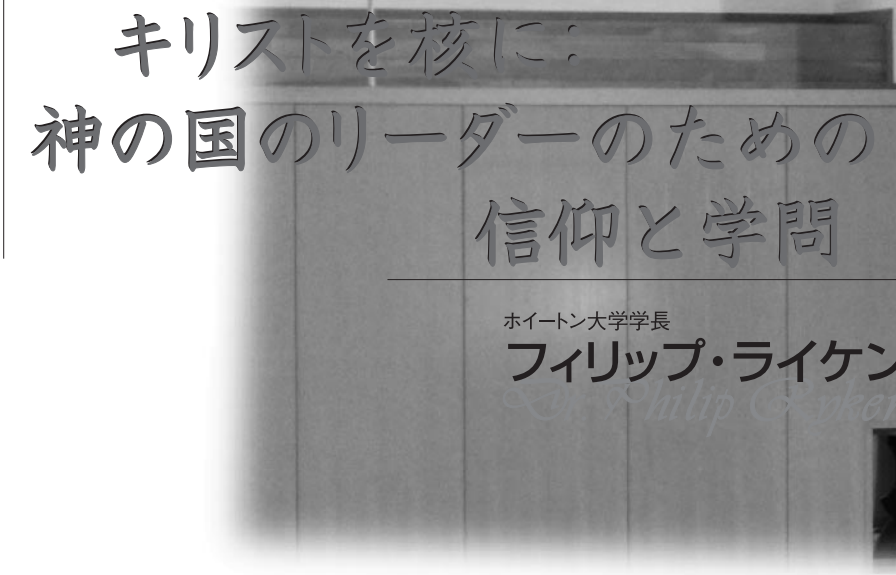
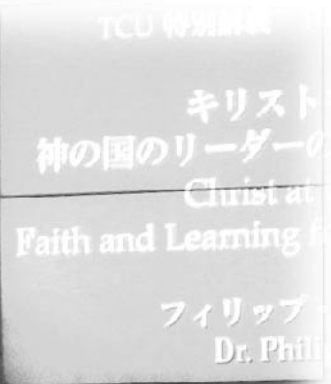
① 第二期中期計画(2013～2017年)の最終年を迎え、第三期中期計画(2018～2022年)を作成しています。それはTCUの5年間の方向性を祈りつつ定め、将来の姿を今決める大切な時です。「方向性」については、福音主義の神学大学としての「ベクトルは鮮明に、スタンスは広く」と理事会で共有しています。

② 「関わる皆に神様の祝福を取り次ぐ喜びを共にするTCU」を掲げる「神の国に仕えるプロジェクト」は正念場です。今は7つの作業チームが重要テーマに取り組んでいます。学外の方にも分かり易く表現すると、…I・育成する人間像表現と教育に関する諸方針の再考、学生募集、II・TCU支援会展開、III・財政・支出考察、IV・キャンパス整備、V・教職協働・組織改革・情報共有、VI・資金管理運用、VII・理事会機能向上、で

③ このような大切な数年のリーダーシップを担う2018年度からの学長選考の年です。誰がリーダーになるにせよ、教員・職員・理事・監事・学生・教会支援者…皆の熱い協力が不可欠です。ぜひ、大切な年を迎えているTCUへの皆さまのご厚意とお祈りをお願いいたします。



5月16日、米国ホイートン大学 (Wheaton College) のフィリップ・ライケン学長が本学チャペルで特別講演会を行いました。米国のキリスト教リベラル・アーツ大学のリーダー的存在であるホイートン大学が建学以来中心に置いてきた「信仰と学問の統合」について、その意義と実際の取り組みについて語り、終わりには本学在学生の質問に対し、多くの知識と経験に裏付けられた示唆に富む応答をしました。



ホイートン大学学長  
フィリップ・ライケン

## ホイートン大学とキリスト教 リベラル・アーツ教育の歴史

ホイートン大学はどのようなにしてキリストに忠実であり続けることができたのですか、と時々尋ねられることがあります。というのも、本学が1860年に創設されてから変わることなく同じ使命に立ち続けているからです。私は、この大学を創設して下さった方々の真摯な祈りが応えられたのだと考えています。

私たちが行っているような、キリスト中心のリベラル・アーツ教育には長い歴史があります。そのルーツは、古代ギリシャ・ローマ世界において民主主義政治を支えるために自由市民に教育を施したことにあります。初代教会はこの教育システムを採用し、自らのものとなりました。彼らはリベラル・アーツ教育をイエス・キリストの主権の下に行ったのです。クリスチャンの若者たちは、神の王国のための人生に備えて信仰をもつて学びました。こうした教育は、中世を通じて続けられました。実際、オックスフォード大学やパリ大学などの歴史ある偉大な大学は、教会から始まったのです。宗教改革の指導者たちはこうした教育を受け、ルターやカルヴァンは会衆にも教育を受けることを勧めました。そして、キリスト中心のリベラル・アーツ教育は、アメリカ

合衆国にも多大な影響を与えました。北米だけでなく、アジアやアフリカ、南米においてもそれは同様です。リベラル・アーツ教育機関はしばしば神学校としてスタートします。クリスチャン共同体は牧師を必要とするので、彼らは若者たちをそのミニストリーに備えさせようとするからです。しかしすぐに彼らは他の分野にも手を広げました。医療、法律、ビジネス、IT関連などの分野です。彼らは若者たちがクリスチャンとしてこれらの分野で働いてくれることを願い、聖書と神学を彼らに教えます。クリスチャンとして指導力を発揮する人生のために、学びと信仰とを統合することに関心を示す大学の学長は増え続けています。

ホイートン大学の使命は、イエス・キリストに仕え、教会を建て上げ全世界の社会を益する人材を育てる高度なリベラル・アーツ教育を通じて、神の王国を前進させることです。この使命を追い求める中で、私たちは三つのことをすべての学生に約束しています。

### ホイートン大学の三つの約束

#### 第一の約束 「キリスト中心の大学」

第一は、本学がキリスト中心の大学だ



質問をする学生

ベラル・アーツとは、人を自由にする学問です。私たちは文系・理系の多岐にわたる分野の教育を施すことで、学生たちに批評的な思考方法や表現方法を身に付けてもらいます。同時に、ホイトン大学の教育カリキュラムはキリストが中心にあります。すべての学生は旧約聖書、新約聖書、そしてキリスト教神学を学びます。このようにキリストを中心に据え、なおかつ幅広い分野に適用できるような批判的思考を身に付けられる教育は、現代社会のニーズに込めるものです。私たち

私たちの学生への第二の約束は、リベラル・アーツ教育を提供することです。リベラル・アーツとは、人を自由にする学問です。私たちは文系・理系の多岐にわたる分野の教育を施すことで、学生たちに批評的な思考方法や表現方法を身に付けてもらいます。同時に、ホイトン大学の教育カリキュラムはキリストが中心にあります。すべての学生は旧約聖書、新約聖書、そしてキリスト教神学を学びます。このようにキリストを中心に据え、なおかつ幅広い分野に適用できるような批判的思考を身に付けられる教育は、現代社会のニーズに込めるものです。私たち

神のイメージに造られた者であることを知るようになります。そして多様な人々がいる共同体の中で、キリストのようなもてなしの心で互いに接するようになり、キリストの王国の目的に合うような良い変化を周囲にもたらす人間へと成長していきま

翻訳・要約 山口希生

という事です。私たちはキャンパスの様々なところに「キリストと、その王国のために」というモットーを掲げています。これが意味するのは、各人がキリストと個人的な関係を築くことだけではありません。私たちはキリストのために、そしてその王国のために生きています。神の王国とは神の支配であり、神の御心はその支

配が全世界のあらゆる領域に広がっていくことです。そしてこれこそが、ホイトン大学の創立当初から抱えてきたヴィジョンなのです。

## 第二の約束 「リベラル・アーツ教育」

私たちの学生への第二の約束は、リ

## 第三の約束 「恵みの共同体として」

は人生の中で、何度か仕事を換えなければならないかもしれない時代に生きています。このため、クリスチャンとして様々な課題や局面に柔軟に対応できる、そうした資質を伸ばす教育が必要なのです。



講演後、学生のために祈るライケン学長



# TCCUの 英語教育のこれから

学内異文化交流と入試改革

大学を取り巻く環境は年々激しさを増しますが、昨今最も大きな話題の一つとなっているのは英語教育です。2020年度から大学センター入試が「大学入学共通テスト」という新制度に移行し、英語科目では4技能(読む・書く・聞く・話す)を評価するためTOEFLなどの民間試験の導入が検討されています。そんな中、TCCUではどのような施策をもって学生の英語力を伸ばそうとしているのかを岩田三枝子 国際キリスト教学専攻長、森恵子 英語科主任にインタビューしました。

今年度から始めたPractical Language Assignment System (PLAS)について教えてください。

**岩田** 最初のきっかけは国際キリスト教学専攻(国キ)の英語教育の効果ある方法は何かと考えている中で、TCCUには留学生がたくさんいるので、彼らともしっかりと交流を持つことを通して語学を学んでいけたらいいよねというアイデアから生まれました。留学生とパーティーをする、彼らが帰国する時見送りに行く、などの活動を数値化し、それが授業のポイントになったら励まされるのではないかと。

ポイントが目的ではなく、交流が活発になることを目的にして、その励ましとして導入しました。ですので、英語だけのプログラムではなく、留学生の方からも日本語を学ぶというところで、PLASの名前の中にはEnglishではなくLanguageという単語が使われています。

**森** 新しい授業科目ではなく、既に

ある授業科目の教員同士が連携を取って、それぞれの授業の評価のポイントとして換算されます。春学期は私と岩田先生の授業で行っており、秋学期からはACTSES(留学生のコース)の授業とも連携して行います。学生たちは「TCCUオンライン」という学生が利用するインターネットサイトを利用して、活動予定を立てたり、結果をアップロードしたりします。写真や音源を載せることもできます。

**岩田** PLASはあくまで仕掛けだと思っています。クラスが終わればポイントも交流が続いてくれることを願っています。PLASをきっかけに自主的に交流を続けるようになってほしいです。

**森** 新しい試みなので、何度もリマインドして、留学生に話しかけるのに今一步勇気が出ない学生の背中を押してあげる必要があります。小さな交流でも、やってみれば達成感を感じられることを本人に分かってもらえるようにしたいですね。

それから、このことで教員側にも変化があるように思います。これまでも日本人と留学生との関係を深めることが大切だと言ってきましたが、特にどの教員が主体的に取り組むというわけではありませんでした。しかし、今回PLASに取り組むことで、自分のクラスの学生が留学生ともしっかりと関

わるようにと意識するようになってきました。

今年度新しい英語の先生が加わりましたが、PLASにはどのような関係がありますか？

**森** バビリエ先生はACTSESSの卒業生でもありますので、TCUに来る留学生がどんなことに苦労しながら適応していくのか、直接留学生の声を集めています。今後その内容をまとめて、英語・異文化理解の授業内容に反映させる予定です。クック先生にはリサーチをお願いしています。他大学でも同様の課題がありますので、日本人と留学生の交流に関するリサーチによって、本学の特異性を分析して施策に生かすことができたらと願っています。

TCUでは2018年度入試科目が変更になり、英語が入試科目から外れ、代わりに入学前教育が手厚くなりました。どのような狙いがあったのでしょうか。

**森** 大学入試をめぐる問題は特に英語の入試について大きな話題になっています。今後、英語の入試は、読む・書く・聞く・話すの四技能を測ることが求められるようになり、他の大学もその対応に追われている状況で

す。では、TCUはどうするのかというところで、そもそも英語の四技能を入試で測る必要があるのかという議論の結果、それよりも早い段階から教育を始めた方が良くのではないかという話になりました。

具体的にはどのような方法ですか？

**森** 受験生には合格した後、つまり入学前にCASECという外部試験を受けてもらいます。その結果を見て、各自のレベルにあった学習をTCUが提示し、入学前に学習をしてもらうというものです。AO入試と推薦入試の合格者は、入学の直前にも再度受験してもらい、その伸びを見るようにします。これまでも入学前教育はありましたが、英語力の向上を測る客観的な指標がありませんでした。今回の外部試験導入によってそれも可能になります。入学後も一回は受けますので、AOと推薦の合格者は3回受けてもらうことになりました。

**岩田** 英語については様々な議論がありますが、この試みは非常に斬新だと思えます。そもそもTCUの場合、特にAO入試では学力を判断するという面とともに、入試をきっかけにも学びをスタートするという面があります。英語の入学前学習は、どのように学習方法を提示するのですか？

**森** オンラインの学習素材を使うこ

とにしました。外部試験の結果は4つのカテゴリに分かれていて、カテゴリごとに基準を設け、下回っていた場合は、そのカテゴリについての学習をします。それは入学後の英語教育とも接続します。このように各自の英語力の強み弱みを判別し、多面的に学習することで総合的に英語力が向上することを目指しています。

このような英語力が入学後の海外プログラムの基礎になりますか、どのような期待を寄せていますか？

**岩田** 今の国キのプログラムとして、1・2年生の英語の授業、2年生の海外語学研修でグローバル化する国内外で必要な語学力を磨き、3年生の異文化実習でキリスト者の視点を持って世界の課題を考え、多様な他者の間で生きるという異文化理解の力を身につけ、4年生の卒業研究でTCUで学んだ4年間の総括を行うと同時に、卒業後のそれぞれのビジョンにつなげていくという一貫したプログラムを目指しています。理想的には2年生までに十分な英語力を身につけて、異文化実習では通訳を介さずに実習をしてほしいと思っています。そのためには今TCUにすでに与えられている豊かなグローバルな環境をさらに活かし

ていきたいと考えています。そのためにも、今回の入試改革とPLASの導入には期待をしています。

**森** 統計上でも明らかですが、近年、日本全体で海外に出て行く学生が減っています。しかし、私たち教職員は、せっかくTCUの国キに入ったからには、学生にはどんどん海外に行ってほしいと願っています。そのために異文化実習と卒業研究を選択必修にするなどの仕掛けを作りました。その準備段階として、入学前教育で基礎をつけ、在学中に体験するPLASによる学内での異文化交流で弾みをつけてほしいですね。



PLASの学生投稿画面

2017年度

# 新入生の証し

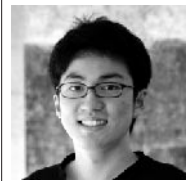
私は今年の四月、東京基督教大学（以下TCU）に入学しました。高校卒業後約二年間の弟子訓練を受けた後、より神様に用いていただけという何かを身に付けたくて、大学探しを始めました。TCUは全員クリスチャンで、国際系の勉強ができることからとても迷っていましたが、確信がありました。しかしオープンキャンパスに来た際、先輩がどの様な人々と出会いたいかを考えて入学を決めたという証を聞き、私はこの学校で国内外からの沢山のクリスチャンと出会いたいと強く思い、入学を決めました。入学して数ヶ月ですが、既にその恵みを体験しています。5月末に修養会があり、そこで二年生でワーシップダンスを披露しました。二週間程毎日皆で練習し、その最初と最後に一つ輪になって祈り合いました。祈り合っている時、私はふとこの日本でクリスチャン大学に入り、皆で祈り合っているこの今の状況は、とてつもない恵みなのだと思えました。これからの大学生活、勉学はもちろん、人と人の関係を大切にしていきたいと思われています。



国際キリスト教学  
専攻二年次  
**雨宮 ジョイ泉**

## TCUに入学して

私はキリスト教主義の高校で高校生活を過ごしました。しかし、クリスチャンは二割ほどで、ノンクリスチャンの友人からキリスト教についても批判的な意見を言われることも多々ありました。当時の私は信仰深かったわけではありませんでしたが、友人の何の根拠もない批判になぜか腹が立ちました。クリスチャンではありませんでしたが、それほどクリスト教に思い入れがあった訳ではないのに、なぜこんな思いになったのかと考えると、やはり自分の意識していないところで働いておられる神様がいらっしゃることに気がしました。そして、自分の原点はキリスト教にあることを再確認することができました。そのようなこともあり、キリスト教主義の大学に入学したい、また、以前から関心のあった福祉の学びをしたいと思いついて、その二つがかなうTCUへの入学に導かれました。TCUの4年間を通して、これから生きていくために必要な力を身につけていきたいと願っています。



キリスト教福祉学  
専攻二年次  
**宮園 裕行**

## 生きていく力を

私がTCUに入学した理由は、将来牧師になりたいと考えているからです。私は牧師家庭のもとに生まれ、小さい頃から自然と教会に行き、小学6年生の時に洗礼を受けました。幼稚園の頃から牧師になりたいと思っていました。しかし、歳を重ねるにつれて自分がやりたいことが本当に牧師なのか疑問に思うようになりました。牧師を目指すことについて、周りの方々にとっても喜ばれる反面、それがプレッシャーとなり、徐々に牧師になるのが嫌になっていきました。しかし、TCUを受験することを通して、神様から牧師になりたいという気持ち・献身者の召命・救いの確信が与えられました。TCUでの4年間に期待していることは、様々なクリスチャンと関わることです。国籍が違う人、同じ日本人でもそれぞれ全然違った環境で育ってきた人、そのようなこれまで関わることのできなかつたクリスチャンとの深い関わり合いに何よりも期待しています。ここでしか学べない大切なことをしっかりと学んでいきたいです。



神学科  
一年次  
**後藤 嵐士**

## 多くの人との関わりの中で成長したい

私は大学卒業後、教会の交わりや神様との時間をもつ中で、自分勝手な信仰から、神様の教えに従って生きていきたいという信仰へと変えられていきました。それと同時に、これまで自分のために使ってきた音楽を、神様のために用い、心から神様に向かって賛美し、音楽を通して神様の偉大さ、すばらしさを伝えたいという思いが強くなっていきました。そこから、教会音楽について深く学び、音楽をもって神様に仕える存在になりたいというようになり、TCUへの進学を決意しました。教会音楽専攻科では、教会音楽の学びはもちろん、神学の学びも学部生と同じように履修することができ、実際に神学の授業を受けていて、毎回与えられる神様の恵みに感動し、信仰も、音楽に対する意識も日々新たにされています。TCUでの多くの出会いと、これからの学びが実りあるものとなるように祈りつつ、これからも神様の栄光をほめ歌い、神様と共に生きる道を進んでいきたいです。



教会音楽専攻科  
**村山 いづみ**

## 主を賛美し続ける



神学科シニアコース  
三年次編入  
**平野 孝明**

## 人生の第6章

私は昨年11月で60歳となり35年間の会社生活に終止符を打ち、人生の新しい第6章に入りました。それは献身です。約20年前にその思いはありましたが、まだその時に至らずと、主は依然私を会社人間として、この社会の中でクリスチャンの働き・証しを続けるよう導かれました。そして主を第一とする基本概念での私の意見は、時として会社には受け入れられませんが、私の背後にあるイエス様は伝えることができました。それは私にとって何よりの喜びとなり、もつと明確に大胆に神様を伝えたいと熟成されてきました。

そして一昨年12月のインドチェンナイでの大洪水からの脱出劇で、神様はいつも私と共にいてくださり、助け導かれ、恐るべき方と実感し、献身の決断に至りました。自分だけの安逸を貪るのではなく神の民全体の戦いに参加します。TCUではキリスト教神学を組織的・実践的・世界的視点から学び、主に用いられるよう謙遜になります。



神学科教会教職専攻  
三年次編入  
**廣川 望**

## 福音を伝える者として

入学前は、臨床心理士という経験の中で、生き辛さを抱える方々との関わりがありました。私は牧師家庭に育ち、9歳で洗礼を受けましたが、成長とともに神様から離れ、心の病にも罹りました。15年後、生きることに限界を感じた私を、神様は呼び戻され、抱えきれなかった苦しみを、一瞬で恵みへと変えてくださいました。喜びの証をする中で、神様は、ピレモンへの手紙を通して、牧師の召命を下さり「私は既に牧師になる門を開いている。最後に選ぶのはあなたの自由意志だ」と、決断を促されました。私は主に従い「全てを捧げます」と応答し、神学校への道が拓かれる時を待ちました。

その間、開拓教会奉仕、ひきこもり支援、熊本地震の被災者支援と、多くの出会いと証の機会が与えられました。そして道が拓かれ、入学できました。TCU生活で、福音を伝えていく者として、教派や人種を超えて、皆さんとともに学びあい、助け合って歩めることを神様に期待します。



大学院  
神学研究科1年次  
**古屋 詩織**

## 学べる喜び

ハレルヤ！主の御名を賛美します。私は2014年に東京基督教大学国際キリスト教学専攻を卒業し、もう一度この学び舎に戻ってきました。「バランス(調和)」が私のキーワードです。その「バランス」がTCUにあると思います。神学的な学びにおいて、偏った神学ではなく、バランスが必要です。また、学問だけではなく、キリスト者として、天のお父様と子の関係として、神学と信仰のバランスも必要です。また、神様と自分だけの関係に留まらず、隣人、共同体とのバランス。寮生活ではそのバランスを取ることが出来ます。日本人学生に留まらず、留学生、教団教派、背景の違う人との交わりを通してのバランス。また、自分以外の人と関わる事によって自分を知り、創造主を知ること。これらのバランスがTCUにはあると思います。そのTCUで学べることは最高の神様からのギフトだと思っています。主の導きに従って毎日の学び、日々の生活を大切に歩んでいきたいと思っています。

### 学生数データ 2017年5月1日現在

<b>総学生数合計 201名</b>	<b>神学部 学生数158名</b>	<b>大学院博士前期課程(修士) 学生数34名</b>																																																				
<table border="1"> <tr> <th></th> <th>1年次</th> <th>2年次</th> <th>3年次</th> <th>4年次</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td><b>国際キリスト教福祉学科</b></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  国際キリスト教学専攻</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>  キリスト教福祉学専攻</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td><b>神学科</b></td> <td>22</td> <td>21</td> <td>34</td> <td>26</td> <td>103</td> </tr> </table>		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	<b>国際キリスト教福祉学科</b>						国際キリスト教学専攻	11	10	8	9	38	キリスト教福祉学専攻	5	7	0	5	17	<b>神学科</b>	22	21	34	26	103	<table border="1"> <tr> <th>神学研究科</th> <th>1年次</th> <th>2年次</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>  教会教職者コース</td> <td>8</td> <td>17</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>  神学教育者・研究者コース</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>9</td> </tr> </table>	神学研究科	1年次	2年次	合計	教会教職者コース	8	17	25	神学教育者・研究者コース	4	5	9	<table border="1"> <tr> <th>大学院博士後期課程(博士)</th> <th>1年次</th> <th>2年次</th> <th>3年次</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </table>	大学院博士後期課程(博士)	1年次	2年次	3年次	合計		0	1	4	5
	1年次	2年次	3年次	4年次	合計																																																	
<b>国際キリスト教福祉学科</b>																																																						
国際キリスト教学専攻	11	10	8	9	38																																																	
キリスト教福祉学専攻	5	7	0	5	17																																																	
<b>神学科</b>	22	21	34	26	103																																																	
神学研究科	1年次	2年次	合計																																																			
教会教職者コース	8	17	25																																																			
神学教育者・研究者コース	4	5	9																																																			
大学院博士後期課程(博士)	1年次	2年次	3年次	合計																																																		
	0	1	4	5																																																		
	<b>教会音楽専攻科 学生数4名</b>																																																					

## 丸山忠孝 宗教改革500年記念講演



### 「ルターとカルヴァン」

大学院神学研究科委員長 山口 陽一

西日本宣教セミナーのためシアトルから来日された丸山忠孝初代学長による講演が、6月16日、お茶の水クリスチャン・センターで行われ、約140名が参加しました。

丸山氏は、聖書により教会の歴史と現状を検証することが宗教改革であり、ルターは垂直・実存的次元から、カルヴァンは水平・救済史的次元から、同じ本質の改革を行ったと洞察します。「ルターとカルヴァン」の挑戦は神のことば、信仰者、教会の三点。「ただ聖書のみ」は聖書以外の権威を拒否して信仰を告白する理念であり、神のことばによって興される信仰者は「誘惑」の中に「恵み深い神」を(ルター)、「深淵」と「迷路」の中にキリストにある秩序と方向性を(カルヴァン)見出し、神は教会の交わりにおいて信仰者を保つ。権

力願望、国家主義、全体主義の動きが世界中で進展し、宗教多元主義とヴァイタリズムが蔓延する現代、ルターとカルヴァンの「共同的キリスト教」の理念は遺産とみなされ、プロテスタント教会のメッセージの今日的意義すら危惧される。と、ルターとカルヴァンを16世紀から連れ出したような講演でした。これに対する加藤喜之准教授の応答「宗教改革のうちなる矛盾：21世紀の改革にむけて」もまた、ルターの矛盾を「神のことばの唯一性とルター自身の権威」、「福音と政治・社会問題の分離と社会刷新の鍵としての福音」、「福音の働きへの楽観主義と教皇制度への苛烈な攻撃」において問う本質的で熱い議論でした。



主催：東京基督教大学大学院神学研究科・同大学付属 共立基督教研究所  
共催：お茶の水クリスチャン・センター  
後援：東京基督教大学同窓会、東京基督神学校同窓会

## 2016年度TCU卒業生の進路先

### キャリア支援室

2016年度は、学部33名(神学科24名、国際キリスト教福祉学科9名)、大学院11名の卒業生・修了生を送り出しました。

今年度は昨年度と比較すると就職希望者が多い年でしたが、就職希望者については、昨今の厳選採用が続く中で多くの就職内定を得ることができ、地の塩世の光として社会に送り出せることは本学にとって大きな喜びでありました(学部就職内定率89%・進路決定率79%【5月1日現在】)。

就職先は、私立学校、語学学校、商社、児童保育施設、介護支援施設等の多様な分野に遣わされました。7月卒業の留学生についても積極的な企業合同説明会参加への奨励等、きめ細やかな支援体制を整えています。

一方、教会や宣教団体へ派遣される学部卒業生が4名、大学院修了生が9名おります。また、本学大学院、神学校、海外の神学大学大学院への進学者は9名おり、伝道と牧会への情熱と実践力を身につけ、次世代の教会を建てあげる働き人として期待されています。

## 夏の留学・実習プログラム

夏の期間中に下記の留学・実習プログラムが始まります。プログラムの安全と学びの充実のためにお祈りください。

### 海外語学研修(オーストラリア アデレード)

期間：8月25日～11月20日

国際キリスト教学専攻2年次9名

### 異文化実習(フィリピン マニラ、ピコール地域)

期間：7月10日～8月4日

国際キリスト教学専攻3年次3名

### 介護実習1.a(近隣福祉施設、キリスト教福祉施設)

期間：7月10日～7月25日

キリスト教福祉学専攻2年次7名

### 介護実習2(近隣福祉施設、キリスト教福祉施設)

期間：7月10日～8月10日

キリスト教福祉学専攻4年次5名

上記以外にも大学院博士前期課程1年次の神学インターン、任意参加プログラムである海外派遣ワーカーなどのプログラムも行われます



## スプリングリトリート報告

### 「静まりのすゝめ」

スプリングリトリート委員長  
神学科教会教職専攻4年

時田 英利也

今春も、2泊3日のスプリングリトリート(5/24-26、茨城県つくば市、テーマ:「静まりのすゝめ」、講師:太田和功一先生)が行われました。「静まる」ことは、「リトリート」の本質的行為です。「静まる」とは「やめること」(詩篇46:10)であり、それはリトリートの「退却する、撤退する」といった意味と重なります。「静まる」ことがわたしたちの日常にとってどのような意味をもつものか、太田和先生



から静まりの実践の時を通して学び、受け取った3日間であったと実感しています。

から静まりの実践の時を通して学び、受け取った3日間であったと実感しています。

私たち一人ひとりにとっての「静まり」は多種多様ですが、しかしこの「静まり」の時を通して、わたしたちは主から大切なことを受け取るのだと学ばされました。オプションのときや恒例のLive-inのとき、集会のスマールグループなどを通して、互いの交わりも深めるときとなりました。リトリートの静まりの中でそれぞれが受け取ったことを、日常の静まりの中で思い返しつつ、日々新たに主の御声に耳を傾けたいと思います。



## 「パイプオルガンさんこんにちは」報告

### パイプオルガンさん こんにちは

TCU教会音楽講師 内藤 真奈

5月20日(土)午後1時半より、「パイプオルガンさんこんにちは」Vol.17が開催されました。ゲストに打楽器奏者の村本寛太郎氏を迎え、オルガンと30種類ものパーカッションのコラボが実現! 分かり易く楽しいお話と素敵な演奏は、大人から子供まで約300名の来場者を魅了しました。今回は初めて、印西市長はじめ関係職員の方々もお見えになり、コンサートを楽しんでくださいました。

この行事は、ただ単にTCUに与えられたオルガンを用いて素晴らしい音楽を提供するためではなく、TCUの存在を地域の方々に知っていただき足を運んでいただくため、神様の存在、素晴らしさに触れていただくため、すなわち福音宣教の働きの一端を担うものとして、企画がなされています。音楽関係では、クリスマス・コンサートと共に、地域の方々がTCUを訪れやすいプログラムが提供されています。今後も、更に地域に開かれた企画として豊かに用いられることを切に願います。



## 入 試 情 報

### 神学部入試(一般入学者選抜第1期・第2期 日程はウェブサイトにて)

	第1回AO入学者選抜	第2回AO入学者選抜	推薦入学者選抜
出 願 期 間	2017年8月1日(火)- 8月14日(月)必着	2017年10月2日(月)- 10月26日(木)必着	2017年11月1日(水)- 11月13日(月)必着
試 験 期 日	2017年9月9日(土)	2017年11月28日(火)	2017年11月28日(火)
合 格 発 表	2017年9月14日(木)	2017年12月7日(木)	2017年12月7日(木)

☎ 教務部入試担当 nyushika@tci.ac.jp

### 大学院入試 修士課程

	第Ⅰ期一般・留学生	第Ⅱ期一般・留学生
出 願 期 間	2017年11月6日(月)-11月10日(金)必着	2018年1月8日(月)-1月15日(月)必着
試 験 期 日	2017年11月30日(木)	2018年1月26日(金)
合 格 発 表	2017年12月7日(木)	2018年2月8日(木)

### 博士課程

	11月入試	1月入試
出 願 期 間	2017年9月28日(木)-10月11日(水)必着	2017年11月20日(月)-12月1日(金)必着
一 次 審 査 結 果 発 表	2017年10月27日(金)	2018年1月12日(金)
二 次 審 査	2017年11月24日(金) 2017年11月27日(月)-11月30日(木) 筆記試験「英語」受験者は30日(木)受験	2018年1月22日(月)-1月26日(金) 筆記試験「英語」受験者は26日(金)受験
合 格 発 表	2017年12月7日(木)	2018年2月8日(木)

☎ 大学院入試担当 graduate-school@tci.ac.jp

### 専攻科入試

	第1回教会音楽専攻科入試
出 願 期 間	2017年10月31日(火)-11月9日(木)必着
試 験 期 日	2017年11月24日(金)
合 格 発 表	2017年12月7日(木)

☎ 教会音楽専攻科入試担当  
churchmusic@tci.ac.jp

## 夏期伝道2017派遣教会

7月10日-18日、今年度の夏期伝道が「全力福音～恵みをともに～」というテーマのもと行われます。日本全国に10チームが派遣され、教会に仕え宣教の働きに加わせていただきます。

夏期伝道のためにお祈りをお願いいたします。

- ① 日本バプテスト教会連合 町田金井バプテスト教会(東京都)
- ② 日本長老教会 満濃キリスト教会(香川県)
- ③ 単立 群馬国際キリスト教会(群馬県)
- ④ サザンバプテスト インターナショナルワーシップ(群馬県)
- ⑤ キリストの光宣教会 虹ヶ丘キリスト教会(山口県)
- ⑥ 日本同盟基督教団 クロスロードチャーチ岡山(岡山県)
- ⑦ 日本バプテスト教会連合 白浜バプテスト基督教会(和歌山県)
- ⑧ 日本同盟基督教団 福岡めぐみ教会(福岡県)
- ⑨ 日本同盟基督教団 市川福音キリスト教会(千葉県)
- ⑩ 日本伝道福音教団 五泉福音キリスト教会(新潟県)

## オープンキャンパス

オープンキャンパスが下記日程で行われます。  
是非ご参加下さい。

- ☎ 8/26(土)  
10/9(祝月)シオン祭  
11/3(祝金)

内容 学部・学科説明、在学生によるTCU紹介、  
キャンパスツアー、  
模擬授業、学費・奨学金・入試ガイダンス、  
個別面談  
宿泊一泊無料・交通費補助あり

☎ 申 本学ウェブサイトからお申込み下さい。  
教務課入試担当(0476-46-1131)

# 2016年度決算・2017年度予算概要報告

## 2016年度決算

大学としての安定した財政基盤確立のためには、資産の減価償却額を含めた「基本金組入前当年度収支差額」と基本金組入額も含めた「当年度収支差額」（学校法人会計基準）を均衡させることが大切です。本学として、その前段階の「資金の収支」を安定的に均衡させたいところですが、2016年度はマイナス1億57百万円となり、その分が期首の資金額から減り、期末額は18億76百万円となりました。資金額全体から見ると、減少額は小さな割合ではありませんが、当年度マイナスの主な理由としては、有価証券の入れ替のため大きな支出を計上した（実績累計ではプラスで終えたが単年度ではマイナス）ことがあります。ただしこれは今回に限っての特別な要因です。長期の財務計画では、資金額は2022年度まで減り続けるものの単年度ごとの減少額を徐々に縮小し、2023年度からプラスに転じる計画です。

事業活動収支計算書（2016年4月1日～2017年3月31日）

単位:円

		科目	予算額	決算額	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	198,675,000	193,918,545	4,756,455
		手数料	3,725,000	3,460,603	264,397
		寄付金	65,000,000	67,277,823	-2,277,823
		経常費等補助金	195,916,000	168,241,000	27,675,000
		付随事業収入	93,836,000	85,971,282	7,864,718
	事業活動支出の部	雑収入	2,507,000	46,372,465	-43,865,465
		教育活動収入計	559,659,000	565,241,718	-5,582,718
		人件費	381,185,000	419,010,482	-37,825,482
		教育研究経費	298,821,000	276,472,761	22,348,239
		管理経費	45,688,000	46,806,985	-1,118,985
教育活動外収支	収入の部	徴収不能引当金繰入額等	2,034,000	820,390	1,213,610
		教育活動支出計	727,728,000	743,110,618	-15,382,618
		教育活動収支差額	-168,069,000	-177,868,900	9,799,900
		受取利息・配当金	12,000,000	5,921,785	6,078,215
		その他の教育活動外収入	0	215,317	-215,317
	支出の部	教育活動外収入計	12,000,000	6,137,102	5,862,898
		その他の教育活動外支出	0	5,566,489	-5,566,489
		教育活動外支出計	0	5,566,489	-5,566,489
		教育活動外収支差額	12,000,000	570,613	11,429,387
		経常収支差額	-156,069,000	-177,298,287	21,229,287
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	3,298,314	-3,298,314
		その他の特別収入	0	10,624,000	-10,624,000
		特別収入計	0	13,922,314	-13,922,314
	支出の部	資産処分差額	82,000,000	72,289,856	9,710,144
		その他の特別支出	2,191,000	2,191,000	0
		特別支出計	84,191,000	74,480,856	9,710,144
特別収支差額	-84,191,000	-60,558,542	-23,632,458		
〔予備費〕			4,000,000	/	4,000,000
基本金組入前当年度収支差額			-244,260,000	-237,856,829	-6,403,171
基本金組入額合計			-27,401,000	-36,823,210	9,422,210
当年度収支差額			-271,661,000	-274,680,039	3,019,039
前年度繰越収支差額			-519,203,000	-484,006,205	-35,196,795
翌年度繰越収支差額			-790,864,000	-758,686,244	-32,177,756
事業活動収入計			571,659,000	585,301,134	-13,642,134
事業活動支出計			815,919,000	823,157,963	-7,238,963

事業活動収支予算書（2017年4月1日～2018年3月31日）

単位:円

		科目	本年度予算額	前年度予算額	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	202,499,000	198,675,000	3,824,000
		手数料	3,182,000	3,725,000	-543,000
		寄付金	70,000,000	65,000,000	5,000,000
		経常費等補助金	168,629,000	195,916,000	-27,287,000
		付随事業収入	104,324,000	93,836,000	10,488,000
	事業活動支出の部	雑収入	2,704,000	2,507,000	197,000
		教育活動収入計	551,338,000	559,659,000	-8,321,000
		人件費	390,551,000	381,185,000	9,366,000
		教育研究経費	298,201,000	298,821,000	-620,000
		管理経費	37,217,000	45,688,000	-8,471,000
教育活動外収支	収入の部	徴収不能引当金繰入額等	100,000	2,034,000	-1,934,000
		教育活動支出計	726,069,000	727,728,000	-1,659,000
		教育活動収支差額	-174,731,000	-168,069,000	-6,662,000
		受取利息・配当金	20,000,000	12,000,000	8,000,000
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	支出の部	教育活動外収入計	20,000,000	12,000,000	8,000,000
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
		教育活動外収支差額	20,000,000	12,000,000	8,000,000
		経常収支差額	-154,731,000	-156,069,000	1,338,000
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0
		特別収入計	0	0	0
	支出の部	資産処分差額	15,000,000	82,000,000	-67,000,000
		その他の特別支出	2,191,000	2,191,000	0
		特別支出計	17,191,000	84,191,000	-67,000,000
特別収支差額	-17,191,000	-84,191,000	67,000,000		
〔予備費〕			5,000,000	4,000,000	1,000,000
基本金組入前当年度収支差額			-176,922,000	-244,260,000	67,338,000
基本金組入額合計			-29,762,000	-27,401,000	-2,361,000
当年度収支差額			-206,684,000	-271,661,000	64,977,000
前年度繰越収支差額			-758,687,000	-519,203,000	-239,484,000
翌年度繰越収支差額			-965,371,000	-790,864,000	-174,507,000
事業活動収入計			571,338,000	571,659,000	-321,000
事業活動支出計			748,260,000	815,919,000	-67,659,000

## 2017年度予算

予算編成のポイントは、「資金額20億円復帰に向けた軌道修正」です。このことは、働きの人の育成を神様から託されている間、それを永続的に行うために必要な、安定的財政基盤確立に向けた第一歩です。2017年度予算では「資金の収支」はマイナス64百万円です。財務計画どおり単年度ごとの減少額を徐々に縮小し、2023年度からプラスに転じるには、今年度の計画、また7月に決定する次期中期計画（2018・2022年度）の着実な実践が必要であり、教会と社会に仕える教育・研究のさらなる充実と改革を結実させていくことが基となります。

本学の継続的な課題である学生の定員確保と増員・寄付金募集により一層取り組み、財政基盤を堅固なものとし、主の御手の中で、この世界・日本で教会の皆様と共に歩ませていただく学園として、福音の前進に寄与していきたいと願っています。

# 卒業生インタビュー

interview

吉澤 慎也 (Shinya Foshizawa)

2010年東京基督神学校共立研修コース卒業。  
現在、キリスト者学生会 (KGK) 副総主事。



## KGK主事というのはどんなお仕事ですか？

KGKはKirisutosha Gakusei Kaiの略で、大学生や専門学校生に福音を伝える超教派の学生宣教団体です。KGKは学生主体を大事にしていて、クリスチャン学生たちの活動をサポートするのが主事の仕事です。次世代の教会を担う若者たちを育てる働き、教会の未来をつくる働きだと考えています。

## KGK主事をしていてやりがいを感じる時はどんな時ですか？

1人の学生が変えられていく時ですね。信仰が冷めていたり、教会から離れてしまっていたり、そういった学生たちが悩んで悩んで改めてイエス様の福音を受け止め直し、変えられていく。その瞬間の傍らにいられるというのは特権ですし、大きな喜びです。学生時代は短いですが、その後の人生に決定的な影響を与える時期だと思います。

## TCUの学びで今の働きに活かされていることはどんなことですか？

まず思いつくのは説教演習ですね。説教について学ぶ機会はキリ神で学ぶ以前にもあったのですが、あそこまで学んだのは初めてでしたし、自分の説教が磨かれたことが分かりました。それから卒業論文で取り組んだ日本キリスト教史の学びです。キリ神で学んでいた当時、憲法改正が話題になっていて、日本で生きるキリスト者として避けられないテーマだと思い、山口先生のもとで学ばせていただきました。この学びは今でも役に立っています。

## 学び以外の思い出は？

やはり家族寮での生活ですね。子どもたち同士も仲良くなって、今でも長男にとっては良い思い出として残っているようです。当時同じ寮にいた子とは今でも連絡しているような関係ができ、特殊な環境で一緒に過ごした仲間という感覚なのでしょうね。

それから、今でも受け継がれている『INZAI Walker』を創刊したことです(笑)。もとも家族寮で引き継がれてきた暮らしのガイドのようなものがあって毎年更新していたのですが、寮運営委員になり、せっかくだから作ってみようということになって。あれも思い出ですね。

## KGKは今年70周年を迎えますが、どのようなことを行っていますか？

KGKは1947年から始まり今年で70周年を迎えます。11月3-4日に玉川聖学院を会場にして記念大会が行われます。関心のある方はぜひ足を運んでいただけたらと思います。また、私が担当している70周年の出版物も発行されます。雑誌のような形式で、いわゆる記念誌とは違ったものになります。どこかで手にとって読んでいただけたら嬉しいです。

最後に、KGKでは70周年の記念献金を募っています。KGKは教会の未来を作っている働きです。教会に若い人が少なくなっているとよく言われます。これからの教会を考える時に、次の世代を担う若者たちが教会の中で育っていかなかったらどうしたって立ち行かなくなる。そんな中でKGKも教会を建て上げていく若者たちを育てていき、諸教会に貢献したく思っています。教会の未来のことを覚えてお捧げくださったら感謝です。



全国の学生たちと



東京基督神学校入学式の日

# 支援会ニュース

TCU支援会 / 〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5  
TEL:0476-46-1131 ● FAX:0476-46-1405 ● E-mail tcu@tci.ac.jp

## 聖書考古学 特別講演会

### 新潟地区

新潟地区支援会

近 伸之

豊栄キリスト教会牧師

私たち新潟地区支援会では、さる5月中旬の二日間、県内の二教会を会場として、聖書考古学の特別講演会を開催いたしました。講師は菊池実先生、講演テーマは「発掘調査から見るペテルの歴史と礼拝」、そして講演が始まるや、みなが聖書考古学の奥深さに引き込まれていきました。

文明の十字路であるパレスチナ、そしてペテルとはどこにあったのかという謎の解き明かし。発見された土器のひとかけらに現された、歴史の勝者たちの栄枯盛衰。しかしその儚さを通して、私たちは永遠に変わらない神のこぼれとみこころの確かさを味わうことができるのだ、と。会場を後にするときは、新潟独特の曇り空にもかかわらず、太陽がまぶしく感じられました。

「礼拝とは、ひびきまざる」と。講師が最後に語ったチャレンジが今も心に響きます。支援会の一員として、このような形で地域の諸教会を励ますことができるという感謝と喜びを覚えました。ありがとうございました。



## 学園デー

### 愛知・岐阜地区

愛知・岐阜地区支援会

武安 宏樹

愛宕山教会牧師

2017年5月15日に井上貴詞先生をお迎えして、名古屋福音伝道教会(日本同盟基督教団)を会場に、卒業生や関係信徒約30名がつどい愛知・岐阜地区学園デーが行われました。

テーマは「神の家族の今日的な『かたち』を求めて」社会と聖書的世界観からの問いかけ編。専門の社会福祉から宣教的視点の拡大について、従来の個人主義的な次元に留まった伝道や信仰成長から、神と人および人と人との交わりの中で、共同体的・共働的ミニストリーを提案くださり、結びの「今日の福祉は教会に近づいている!」の言葉に、福祉の教会形成の新たな視座が与えられました。セミナーの後は先生に対する率直な質問と、卒業生の再会の場となりました。末筆ながら当地区支援会

設立以来、会長の労をとつてくださる山本陽一郎先生から小生がバトンを受け継ぐことになり、終了後に報告させていただきます。当地区におられる約100名の卒業生へのフォローを始め、母校への支援拡大のため、皆様と祈りつつ仕えたいと思います。



# 寄付金控除のご案内

本学の「明日の世界宣教者育成募金」への寄付金(献金)は、税制優遇措置の対象となり、所得税の寄付金控除と個人住民税の控除を受けることができ、献金額の最大50%が控除されます。

## 所得税の寄付金控除

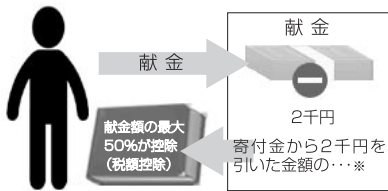
所得税の寄付金控除は、「所得控除」か「税額控除」のどちらかをお選びできます。

### 所得控除(従来の制度)

献金額(所得の40%が限度)-2千円を所得から控除

### 税額控除(新制度)

[献金額(所得の40%が限度)-2千円]×40%を所得税額から控除(所得税額の25%が限度)



※最大50%の控除は、千葉県印西市にお住まいの場合です。(税額控除40%+千葉県指定県民税控除4%+印西市指定市民税控除6%)

税額控除は、すべての寄付先への制度ではなく、東京キリスト教学園がその寄付先として認可を受けています。税制優遇の幅は、大学への寄付金に関して現行制度上で最も手厚くなっておりますので、ぜひご利用ください。

ご不明の点等、お住まいの市区町村役場または本学募金係まで、お気軽にお尋ねください。

## 便利な定期献金のご案内

### ●Web(随時・定期献金)設定金額1,000円～

TCUウェブサイトの「寄付金(献金)/TCU支援会」→右「Web寄付(献金)」にお進みください。VISA、Master対応のカード引落しによるものです。

### ●郵便局自動引落(定期献金)月々500円～

お持ちの郵便局普通口座から毎月自動でお引落するものです。郵便局で「自動払込利用申込書」を下記のようにご記入、お申込ください。お申込には口座の登録印が必要です。

### 【自動払込利用専用】

払込先:TCU支援会、口座00110-3-79801、払込開始月:約1ヵ月後からの月、払込日:毎月25日、種別:33会費、備考欄に「毎月のお払込金〇〇〇〇円」をご記入ください。

## 『明日の世界宣教者育成募金』の感謝報告

2016年度は、1053の支援者より、6,728万円のご支援をいただきました。

2017年度(2017年4月～2018年3月)も、5月末までに、489の支援者より、877万円のご支援をいただいております。

皆様のお祈りと尊いご寄付(献金)に、心より感謝申し上げます。

TCU支援会の相互支援の輪を広げるために、友人・知人にもご入会をお勧めいただければと願っています。

2017年度も、新規、継続のご支援をよろしくお願い致します。

# 献金感謝報告

尊いご献金とご加勢ご協力に、心から感謝と御礼を申し上げます。ここに2017年3月1日から5月31日までの献金者のご芳名を感謝をもって報告致します。  
(敬称略)

## 大学献金

Zampo Church / OMFザンチャペル  
アドレシエン / TCU四期生同 / 愛知泉  
キリスト教会 / 愛宕山教会 / 足立キリスト  
教会 / 安城中央キリスト教会 / 五十嵐キ  
リスト教会 / 生駒めぐみ教会 / 和泉福音教  
会 / 市川福音キリスト教会 / 一宮福音教  
会 / 市原平安教会 / 稲城聖書教会 / 茨木聖書教  
会 / 茨木聖書教会中高科 / 磐田キリスト教  
会 / 牛久福音キリスト教会 / 宇都宮聖書バ  
プテスト教会 / 浦和福音自由教会 / 大野キ  
リスト教会 / 近江福音自由教会 / 大井自由  
教会 / 奥多摩バイブルシャレー / 桶川福音自由  
教会 / 上総キリスト教会 / 勝田台教会 / 金  
沢中央教会 / 迦南教会 / 株式会社本宮建設  
株式会社イチカン / 株式会社永明 / 株式  
会社輝 / 株式会社清水商会 / 株式会社ノア  
株式会社ひばり / 株式会社ララキスボー  
ツ / 釜山ホサナ教会 2016年石巻短期宣  
教チーム / 上大岡聖書教会 / 亀田キリスト  
教会 / 軽井沢キリスト教会 / 川越福音自由  
教会 / 岸和田東聖書教会 / 衣笠中央キリス  
ト教会 / 岐阜キリスト教会 / 京都聖書教会  
/ 共立基督教研究所 / 共立研修センター同  
窓会 / 共立女子聖書学院同窓会 / 久我山キ  
リスト教会 / 久喜福音自由教会 / 櫛形キリ  
スト教会 / クライストコミュニティ / クライ  
ストコミュニティ東神戸リバイバルチャペ  
ル / 久里浜福音教会 / 久留米聖書教会 / 恵泉  
キリスト教会 / クレレスチャペル / 甲府  
キリスト福音教会 / 児玉福音自由教会 / 佐  
倉王子台チャペル / 佐倉福音キリスト教会  
/ 佐渡金井キリスト教会 / シオンキリスト  
教会 / 鹿本キリスト教会 / 静岡サミル聖書  
教会 / 下馬福音教会 / 石神井福音教会 / シャ  
ーム株式会社 / 主都福音キリスト教会 /  
招待キリスト教会 / 湘南のぞみキリスト教

会 / 杉戸キリスト教会 / 杉並教会 / ゼ・エバ  
ンゼリカル・アライアンス・ミッション / 世田  
谷中央教会 / 千間台キリスト教会 / セント  
国際宣教団 / 草加福音自由教会 / 高崎福音  
キリスト教会 / 高田ファミリーチャペル / 高  
松キリスト教会 / 高松キリスト教会 / 高  
松キリスト教会 / 多治見中央キリスト教会 / 高  
松シオン教会 / 筑波福音基督教 / 手打ち齋亭なる  
堵 / 東京基督教大学同窓会 / 東京基督教神学  
校同窓会 / 東京国際基督教 / 東京マンナ  
教会 / 東御キリスト教会 / 徳丸町キリスト  
教会 / 所沢聖書教会 / 富山福音キリスト教  
会 / 豊川中央キリスト教会 / 豊栄キリスト  
教会 / 取手キリスト教会 / 取手聖書教会 /  
長津田キリスト教会 / 中野教会 / 流山福音  
自由教会 / 新潟地区学園デー / 新潟福音教  
会 / 新潟福音キリスト教会 / 西堀キリスト  
福音教会 / 日本同盟基督教団 / 日本フ  
メソジスト教団 / 沼津港町教会 / 練馬バプ  
テスト教会 / のびのびキリスト教会 / 博多  
キリスト教会 / 波崎キリスト教会 / 蓮沼キ  
リスト教会 / 浜田山キリスト教会 / 東久留  
米泉教会 / 東大和刈穂キリスト教会 / ひた  
ち光教会 / 広島福音自由教会 / フインラン  
ド・ルーテル宣教会 / 福音バプテスト宣教団  
/ 福岡めぐみ教会 / 仏子キリスト教会 / 藤  
沢福音自由教会 / 府中西原キリスト教会 /  
富津教会 / 船橋高根教会 / 平和台恵教会 /  
北総警備保障株式会社 / 蛭池聖書教会 / 北  
海道地区TCUのつどい / 本郷台キリスト  
教会 / 町田南キリスト教会 / 松戸福音教会  
/ 松原聖書教会 / 馬堀聖書教会 / みふみバ  
プテスト教会 / 武蔵台キリスト福音教会 /  
恵みバプテスト教会 / やしおホール / 浦和チャ  
チ / 八街福音キリスト教会 / 八千代聖書教  
会 / 谷原キリスト教会 / 大和郡山めぐみ教  
会 / 山の上教会 / クレリスチャペル / 山の下  
福音教会 / 有限会社友愛書房 / 与勝バプテ  
スト教会 / 横須賀中央教会 / 横浜キリスト  
福音教会 / 横浜シオンキリスト教会 / 横浜  
白山道教会 / 横浜山手キリスト教会 / リビ  
ングチャペル / レインボーチャペル / 蕨  
福音自由教会 / Jae Hoon Lee / Niskanen  
Clovis Mehirai / Oiko Medina Bust  
Jru Maraka / 徐有珍 / 青木仁志 / 青木俊

介／青木真知子／青山田鶴子／赤江弘之・昭代／赤穂芳子／浅井秀穂／朝岡勝／安海和宣・由紀子／阿部伊作／阿閉喜代美／天賀谷崇・美織／荒井創／荒木秀一／有馬京子／有馬辰雄／安藤博之・千恵／李金吾／李京爽／飯田晶子／池上王士・桃子／池田アイ／池田昌弘・瀧／池田雄一・詩保／石原徹・敦子／石原美智子／井下由美／伊藤聡／伊藤天雄／伊藤ふさ江／伊藤正昭／伊藤義也・かおり／伊東献仁／稲垣久和／井上八美／井上志乃／井上慎治／井上智彦／井上正彦／井上洋治・由枝／今田和子／入江喜久雄・直美／入江浩／岩田順也・岩田三枝子／岩谷久美子／岩月順子／岩間秀彬／内野雅之・稔子／宇内千晴・遠藤潔・禎子／大井稔子／大内誉也／大恵わたる／大越惇子／太田由利子／大嶋滋子／大嶋義隆／大杉至／太田雅恵／大高市子／大竹海一・紀子／大長寿恵／大野巖／大橋秀夫／大橋祐一・美佐子／大畑茜／大畑篤子／大森幹夫／岡野／岡田美子／小笠原孝／岡田雄／岡村又男・末子／岡本英次／岡森雅浩・ゆかり／岡山敦彦／奥川るい子／奥山智佳子／小笹崇代／鬼塚弘通・啓子／小野幸信／小畑正子／小町継太／小町誠一／鍵谷恵子／影山範文／片岡政子／桂木なおこ／加藤美千代／兼行貴之・みのり／川合哲二／川合尚子／川崎晴美／川島敬子／川島正子／川元久美／菅佐知男・淳子／神田結実子／菅野健太郎／菅野淳一・綾／木内伸嘉／木内雅仁／菊池実／菊池良一・真恵美／岸幸恵／木曾長明／木下和好・恵美子／木下幸治／金和弘／宮本奈緒子／金善熙／桐山優子／熊久保公義／倉沢正則・多美子／倉持裕子／栗原啓子／黒川知文／匿名／黒田尚子／桑島伸一／桑島美帆／桑原淑行／賢賀英郎／五嶋峰子／小瀬幸子／児玉清人／児玉光・照恵／小塚朝生／後藤一志／後藤弘／小林清／小林高德／小林充尚・壽子／小林規子／小林宮子／小林悠／小堀通・滋子／小山望／小和田幸平／近藤哲夫／近藤美智子／齋藤明夫／齋藤和己／斎藤潔・ますみ／佐川英美／崎山清／佐久間謙介／迫田由美子／佐々木望樹／佐藤省三／佐藤孝郎／佐藤トミ／佐藤美樹／佐中久美子／佐野みどり／佐味健志／佐山薫子／沢谷千代子／塩澤忠／塩野明美

塩見知司／塩見治子／篠原基章／柴田美枝子／島田務・弥生／嶋田玲子／清水／清水清美／清水尚子／白倉まり子／菅沼威／菅原好江／鈴木巖／鈴木邦夫／鈴木くるみ／鈴木敏雄／薄佳志子／鈴木七絵／鈴木光男／鈴木陽一／鈴木洋子／ステパノ・フランクリン／関野祐一・妹尾弓子／妹山訓子／千田由美／仙造一・高木美／高梨雅子／高橋篤／高橋樹／高橋茂和・澄子／高橋信希・千尋／高橋宣広／高橋伸幸／高橋光子／高橋美穂子／高橋めぐみ／匿名／竹下悦子／竹本喜代子／多胡真太郎・建部玲子／立山剛／田中悦子／田中進／田中秀之／田中恭子／田淵健郎・恵子／匿名／田村将・尚美／田村勉／千葉秀悦／曹光勲・趙敬順・曹炳敬／塚田真祈子／塚田真理子／塚田安喜／辻智恵／匿名／辻本文子／天田和子／徳梅陽介／匿名／渡真利彦文／富澤歌子／富所正史／内藤真奈・仲吉江／中川洋佑・麻祐／長田清子／中野れい子／長橋和彦／永山治／中山猷児／並木公子／並木孝之／西村敬憲・麻利子／西山幸子／西山聖子／根本信子／根岸幸加／野口忠子／野本恒雄／萩原孝一・朴永基・金美栄／橋本郁子／馬上聡子／蓮井智子／蓮尾英一／長谷川陸子／長谷部秀英・畑和雄／服部真光・千香子／馬場千晶／浜島敏／林トヨ／早見友雄・美江／原豊人・千春／原裕昭・みはる／原田惟座耶／原田真満・比嘉恵美子／東中喜彦／久下雅幸／日名信介／平川俊光・江美／平川光宣・えり子／平塚治樹／平野あおい／平野武男・登美子／廣田具之・洋子／布川祐美／福田真理・ミチル／福原絹子／藤家和美／藤崎秀雄／藤田直樹／藤原真規子／藤原美佐子／藤原尊夫・智子／古野利夫／古野利子／古野睦子／星野良子／星山正一・英子／細田春江／細田浩／堀井康子／本田和弘・真由美／本田詩緒／本間昭弘・芳子／本間邦／本馬信義／前田倫男／牧野栄・貞／牧野理恵／マクドナルド・綾子／増子晴美／増淵正恵／松井博／松浦三七郎・洋子／松田節子／松永千秋／松原利秋／松原宏枝／松村佳子／丸山園子／圓山友子／万城栄治・久美／万城紘・啓子／三浦祐・聖子／三川京子／三木貞夫／三木健／水野時子／溝口昌樹／三谷康人／宮原淑恵／宮本和子／宮本

京子／虫明英雄／匿名／虫明令子／村井／森泉／森恵子／森澤朋子／森田和子／森田哲也／森本文子／森本祥子／森本信幸・麻子／森本英利・好恵／森山洋子／柳沢美和子／矢野陽子／藪崎公一ととき江／藪田三保子／山内慎也／山岡勝次／山川暁／山口忠信／奈緒江／山口三治／山口陽一／山田裕章／大和昌平／山中愛子／山本順子／横山清行／留美子／横山武／吉岡千枝子／吉田雅尚／吉田由美子／吉永啓次・あや子／吉野弘子／吉持章／吉持尽主・優香理／吉持日輪生／劉芽久美／若田部嘉代／和氣敏治／和田郎・栄子／渡邊雅雄／渡辺真理子

○大学院設立 献金

枝川愛の教会／新松戸キリスト教会／津豊坊丘キリスト教会／東京国際基督教教会／みことば福音教会／盛岡みなみ教会／東田涼／阿久津康彦／荒井創／新井竜治／飯田晶子／伊藤天雄／岩田順也／宇内千晴／小野芳信／喜美枝／川島敬子／神田結実子／木下和好・恵美子／金昌秀／小和田幸平／櫻井菊子／篠原基章／長橋和彦／馬場千晶／早川佳枝／平戸迪子／平野雅子／藤原尊夫・智子／山口陽一／大和昌平

○教会音楽献金

柏キリスト教会／自由ヶ丘めぐみ教会／湘南のぞみキリスト教会／千葉栄光教会／筑波みことば教会／パイプオルガンさんこんには／蓮沼キリスト教会／誉田キリスト伝道所／みふみバプテスタ教会／八街栄光キリスト教会／横芝キリスト教会／東田涼／飯田晶子／匿名／伊藤天雄／宇内千晴／大高市子／大竹海一・紀子／奥川るい子／川島敬子／河野悦子／神田結実子／菊池実／木下和好・恵美子／君塚光治／倉沢正則・多美子／黒田尚子／篠原基章／城定千世子／匿名／天田和子／匿名／富所正史／内藤真奈／平野雅子／溝口昌樹／匿名／山口陽一／大和昌平

○夏期伝道献金

市川福音キリスト教会／昭和町キリスト教会／千葉ユータウン・バプテスタ教会／馬堀聖書教会／飯田晶子／伊藤天雄／川島敬

子／川元久美／神田結実子／菊池実／菊地美穂子／倉沢正則・多美子／篠原基章／早川佳枝／原田真満／藤田直樹／柳沢美和子／山口三治／山口陽一／山下真実／大和昌平／山本良一

○異文化実習支援献金

徐有珍／東田涼／伊井洋子／石塚恵司・和子／伊藤天雄／岩田三枝子／加藤美杏香／川島敬子／神田結実子／木下トウ／倉沢正則・多美子／篠原基章／菅原好江／高橋拓也／匿名／西岡力／根岸幸加／森優子／森田哲也／柳沢美和子／山口陽一／大和昌平

○教会教職者志望学生奨学金基金

高崎福音キリスト教会／馬堀聖書教会／八千代聖書教会／飯田晶子／石井秀和／伊藤天雄／上原朋子／宇内千晴・遠藤潔・禎子／川島敬子／神田結実子／木内伸嘉／菊池実／木下和好・恵美子／倉沢正則・多美子／小谷みや子／佐藤良子／篠原哲一／篠原基章／杉山年彦／高橋拓也／谷口精子／徳梅陽介／中川洋佑・麻祐・並木孝之／野口誠／馬場千晶／早川佳枝／東中喜彦／泥谷逸郎／平塚治樹／平野雅子／溝口捷支・和子／溝口昌樹／三井平康／匿名／柳沢美和子／山口陽一／山下真実／大和昌平

○留学生奨学金基金

株式会社ノア／社会福祉法人めぐみの家／徐有珍／阿部伊作／伊井洋子／飯田晶子／匿名／伊藤天雄／宇内千晴／大下由利子／岡田雄／長下部昇／川島敬子／神田結実子／菊池実／倉沢正則・多美子／匿名／小林高德／小林宮子／佐竹十喜雄／篠原基章／内藤真奈／根岸幸加／朴日永／比嘉恵美子／平野雅子／藤田直樹／溝口昌樹／匿名／森恵子／森優子／森田哲也／柳沢美和子／山口三治／山口陽一／大和昌平／李榮淑

学校法人東京キリスト教学園  
明日の世界宣教者育成募金  
〇〇二〇一五七五七六四八

# Information

所…会場 日…日時 講…講師 料…受講料  
問…問い合わせ先 申…申し込み先

## 秋学期本郷台エクステンション

### 「親鸞と『歎異抄』とキリスト信仰」

- 日 11月4日(土) 10:00-15:00 (昼休憩含む)  
第1回 仏教の開祖ゴータマと浄土経典の阿弥陀仏  
第2回 鎌倉時代における法然・親鸞浄土教の革新性
- 日 11月18日(土) 10:00-15:00 (昼休憩含む)  
第3回 親鸞の弟子唯円による『歎異抄』の「危険性」  
第4回 近代以降の『歎異抄』人気とキリスト信仰
- 講 大和昌平(本学教授・神学部長)  
所 本郷台キリスト教会(横浜市栄区)  
料 一括8,000円(一講義2,500円)

申込締切 10月27日(金)必着

問申 教務部 本郷台エクステンション係  
TEL:0476-46-1131 E-mail:extension@tci.ac.jp  
本学ウェブサイトからも申込可

### フォーラム21

## 神の国と人間の回復—教会の公共的使命

日 9月16日(土) 13:30-16:30

パネリスト(発題順)

山口希生(共立基督教研究所研究員、本学非常勤教員)  
加山久夫(公益財団法人賀川事業団雲柱社理事長、  
明治学院大学名誉教授)

岡山慶子(朝日エル・グループ会長)

コーディネーター

稲垣久和(本学大学院教授)

所 お茶の水クリスチャン・センターチャペル  
料 入場無料

問申 共立基督教研究所  
FAX 0476-46-1292 E-mail:ntaka@tci.ac.jp

## FCC教会教職特別セミナー

- ① 日 9月11日(月) 13:00-15:30  
講 吉川直美(シオンの群教会牧師、  
聖契神学校 教師・女子寮主事・事務員)  
タイトル 「『神のかたちの回復』の視点からLGBTを考える」
- ② 日 11月13日(月) 13:00-15:30  
講 廣瀬薫(東京キリスト教学園理事長、日本同盟基督教団理事長、  
日本福音同盟理事長、日本キリスト教連合会常任委員)  
タイトル 「宗教法人・団体の実務の土台を考える」
- ③ 日 12月11日(月) 13:00-15:30  
講 関野祐二(聖契神学校校長)  
タイトル 「信仰と自然科学」

所 国際宣教センター館  
料 一般2,000円 支援会員1,000円(当日入会可)

申込内容 ①氏名 ②電話 ③E-mail ④所属教団・教会名  
申込締切 ①9月6日(水) ②11月8日(水) ③12月6日(水)

申 国際宣教センター  
Fax:0476-31-5521 E-mail:fcc@tci.ac.jp

## シオン祭中の既卒者就職相談

日 10月9日(祝) 10:00-16:00  
・既卒者向け就職相談 10/9(祝) 10:00-16:00

シオン祭中に、就職を希望している本学の卒業生を対象に就職相談を実施します。希望者は、事前申込をしてください。

申 キャリア支援室 E-mail:career@tci.ac.jp

## 2017年度 公開講座と昼下がりのコンサート予定

### 【公開講座】

#### 第2回公開講座

日 9月18日(月・祝) 13:10-15:10  
講 大角欣矢(東京藝術大学教授)

内容 教会暦2

#### 第3回公開講座

日 10月16日(月) 13:10-15:10  
講 朝岡 勝(日本同盟基督教団 徳丸町キリスト教会牧師)

内容 新しい歌を主に—一礼拝改革としての宗教改革—

#### 第4回公開講座

日 10月30日(月) 13:10-16:10  
講 鈴木和子(フジテレビ・ボイストレーナー)

内容 司会者・説教者のための「話しことば講座」  
～日本語の発声・発音 基礎と実習～

#### 第5回公開講座

日 11月17日(金) 13:10-15:10  
講 宇内千晴(本学教会音楽主任)

内藤真奈(本学講師)  
内容 会衆賛美の伴奏法・楽器の特質を生かしたアレンジ  
(パイプオルガン/ピアノ編)

### 【昼下がりのコンサート】

#### 昼下がりのコンサートスペシャル

日 10月17日(火) 12:20-12:50  
演奏 バイオラ フェカルティアンサンプル

#### 昼下がりのコンサート

日 11月17日(金) 12:20-12:50  
演奏 豊田結実子(ソプラノ) 山内吏奈(オルガン)

### 【クリスマスコンサート】

日 12月15日(金) 19:00開演  
所 チャペル

問 東京基督教大学 教会音楽アカデミー  
TEL:0476-46-1131 E-mail:music@tci.ac.jp

## 世界宣教講座

日 10月23日(月)~10月27日(金)  
講 コリンズ・オウマ氏(ナイロビチャペル牧師・教会開拓ディレクター)

テーマ 「アフリカから、今日の宣教を探る」

所 チャペル、国際宣教センター館

問 世界宣教講座委員会 TEL:0476-46-1131